

●吹奏楽団による「第44回定期演奏会」が行われました。

音楽部吹奏楽団団長よりメッセージをいただきました。

「私たち音楽部吹奏楽団は、5月6日に電力ホールにて第44回定期演奏会を開催しました。皆様の温かいご支援、ご協力のおかげで今年度も無事に定期演奏会を開催できたこと、そして当団初の試みである吹奏楽団単独での開催ができましたこと、団員一同心より嬉しく思っております。3年生として自分たちが部活を動かしていく存在となり、1からステージを作り上げることの難しさ大変さを実感しました。仕事に追われて毎日走り回りながらの活動で何度も投げ出してしまいそうになりましたが、本番を終えた後の達成感はとても大きいものでした。お越しいただいた皆様の笑顔を見たときには、かけがえのない充実感と幸せを感じました。3年生にとって最後の定期演奏会は笑いあり、涙ありの最高の演奏会になったと思えます。定期演奏会にご来場いただいた皆様、応援していただいた皆様、本当にありがとうございました！」



●「2023年宮城県仙台南高等学校音楽部合唱団定期演奏会」が行われました。(5月14日 名取市文化会館にて)

音楽部合唱団団長よりメッセージをいただきました。

「今年から合唱団単独での定期演奏会の開催でしたが、皆様に合唱の楽しさや奥深さ、笑顔と勇気をお届け出来るよう奮闘して参りました。当日は669人の皆様が会場に足を運んでくださり、合唱団一同心より嬉しく思います。定期演奏会を無事開催出来たのはこの日のためにご尽力下さった皆様、日々温かく見守り支えて下さる全ての皆様のおかげです。定期演奏会を通して、合唱を心から楽しみ、全力で向き合える時間はとても幸せでかけがえのないものであるということを感じました。これからも皆様に私たち自慢の南高サウンドをお届けできるよう精進して参ります。」



● 3 学年対象「論文講演会」が行われました。

5月10日（水）、カンザキメソッド代表の神崎史彦先生をお招きし、3学年対象「論文講演会」を行いました。「ボランティアの功罪」をテーマとし、「意見」「根拠」「展望」を軸とした主張の展開の仕方、論理の構築の仕方についてご教示いただきました。講義型の形態ではなく、グループワーク等の協働的な学び合いを取り入れていただいたことで、参加した生徒たちも主体性を持ち、問題や課題をより自分事として捉えながら、自らの考え掘り下げることができました。神崎先生は、「スタディサプリ」の小論文講座の講師も務めていらっしゃいます。受験で小論文を必要とする人は、ぜひスタディサプリの動画も活用し、勉強に役立ててほしいと思います。なお、神崎先生には9月30日（土）実施予定の2学年対象「小論文と志望理由書」の際にも講師としておいでいただく予定です。



● 2 学年対象「総探講演会」が行われました。

5月10日（水）、2学年の総合的な探究の時間において、東北工業大学より菅原景一教授をお招きし、「研究って何だろう？」という演題で研究活動について理解を深めるためのガイダンスを行いました。菅原先生からは、知りたいという純粋な気持ちを大切にしてほしいということ、身近なものでも研究テーマになり得るものはたくさんあるということなどについてお話をいただきました。講演後は教室に戻って研究テーマになりそうなものをグループで出し合う「ネタ出し会議」を行い、菅原先生の講演をジブンゴト化する活動へとつなげました。



● 「3 学年 PTA 進路対策研修会」が行われました。

5月14日（土）、「みやぎの教育工房」代表の繁泉祐幸先生をお迎えし、「大学入試の現状と対策」をテーマとして3学年PTA進路対策研修会を実施しました。受験校数、大学・学部・学科選び、35冊読書リスト、アフォーダンス、合否の境等、繁泉先生ならではの分析に基づく貴重なお話をいただきました。

